

萩市総合戦略の検証について

萩市総合戦略に掲げる令和元年度の取組の効果検証 …… p1～p10

地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金 効果検証シート …… p11～p13

政策の 基本目標	具体的な施策展開	目標(令和元年KPI) ※下線は上方修正	現状値 基準年(H26)	実績値					検証分析			達成度		
				H27	H28	H29	H30	R1	対前年 数値	対目標値			分析(要因等)	
										数値	割合			
1 歴史・文化・自然を活かした観光のまちづくり	目標：観光客数の増加 ※()は旧算定方法による	4,900千人 (2,500千人)	4,533 (2,301)	—	—	—	—	4,506	—	▲394	92%		B	
	(1)「萩まち じゅう博物館 館構想」の 推進	①「学ぶ観光」の充実による萩物語の継承 ②世界文化遺産の保全・環境整備及び理解増進・情報発信の充実 ③歴史的町並みと美しい景観を活かしたまちづくりの展開 ④滞在型観光・体験交流型観光の充実 ⑤まちの魅力の充実 ⑥萩ジオパーク構想の推進	観光施設の利用者数(年間延べ数) 1,030千人⇒ 【1,200千人】	952	1,556	1,192	1,079	1,065	1,046	▲19	▲154	87%	台風・悪天候による夏の公共交通機関の計画運休や、夏・秋のイベント中止等により、観光客数が減少したことに伴い、観光施設の利用者数が減少した。一方で、むつみ地域のひまわりロードや旭地域の萩往還など、地域の自然をいかした観光スポットに来場者数が増加する傾向が見られている。	B
	(2)明治維新150年に向けた取組	①明治維新150年に向けた記念事業の実施及び情報発信 ②旧明倫小学校の整備と観光起点としての活用、旧萩藩校明倫館の復元 ③萩の歴史・文化・人物等を活用した記念事業の推進 ④大河ドラマプロジェクト推進事業との連携	観光起点施設(旧明倫小学校跡地)の利用者数(年間延べ数) 100千人⇒ 【350千人】	新規の取組	—	35	303	244	220	▲24	▲130	63%	創建300年記念として全国藩校サミットや、世界遺産登録5周年世界遺産ご当地フェア等を開催し、閑散期誘客対策に努めた。しかし、学校行事やツアーなどの団体予約の減少等が利用者数減少の要因と分析される。観光客のみならず、新たな客層の開拓やリピーター客の確保が課題となっている。	C
				(参考) 大河ドラマ館 (H27.1~H28.1) (365日) 313千人	世界遺産ビ ジターセン ター学び舎 (H28.1~H29.2) (380日) 51千人	明治維新 150祭イベ ント来場者 H29:16千人 H30:63千人 R1:4千人								

政策の 基本目標	具体的な施策展開	目標(令和元年KPI) ※下線は上方修正	現状値 基準年(H26)	実績値					検証分析				達成度												
				H27	H28	H29	H30	R1	数値分析		分析(要因等)														
									対前年 数値	対目標値 数値		割合													
1 歴史・文化・自然を活かした観光のまちづくり	(3)観光情報の発信強化	①ホームページの充実、SNS等を活用した情報発信	827	1,340	1,042	1,013	1,012	1,014	2	14	101%	近年、情報収集の手段がホームページ以外に、個人のブログやInstagramなどに分散化しているものの、引き続き目標値を上回る実績となった。	A												
		②多様なニーズに対応する情報発信												イベント来場者数(年間延べ数) 【860千人】	795	844	738	702	703	654	▲49	▲206	76%	GWのイベント来場者数は、萩焼まつり、萩大茶会などは前年比増となったものの、椿の開花状況が悪かった椿まつり、日照不足の影響を受けた菊ヶ浜海水浴場、台風接近により規模を縮小した魚まつり等が前年比減となったため、年間延べ来場者数は減少している。	C
		③「萩ロケ支援隊(フィルム・コミッション)」の活用																							
		④萩の歴史・文化・食・花木をテーマとしたイベント等による情報発信																							
		⑤萩物語の伝承による萩ブランドの発信																							
	(4)観光アクセスの向上・受入体制の充実	①高規格幹線道路等の整備促進・二次交通及び市内交通の利便性の確保	418	461	428	445	425	405	▲20	▲55	88%	宿泊者数の減少は、台風・悪天候による夏の公共交通機関の計画運休や、夏・秋のイベント中止に加え、宮島の大規模改修に伴う団体旅行客の減少が影響したものと考える。	B												
		②広域連携による広域周遊ルートの充実及び整備促進																							
		③おもてなし観光の推進												旅行消費額(年間) 【140.9億円】	来訪者満足度 ◎おもてなし 【4.05】 (5段階評価)	133.8	131.5	140.9	9.4	-	100%	旅行消費額については、観光庁の動向調査では、国内宿泊旅行の消費額が過去最大となっている。萩市内では、宿泊者数は減少したものの、宿泊旅行者の単価が増加したことにより、観光消費額全体は増加となっている。	A		
		④教育旅行・民泊・研修・学会・大会等の受入																							
		⑤観光ニーズに対応したサービスの充実												◎宿泊施設 【4.05】 (5段階評価)											
⑥萩温泉郷・道の駅の活用		◎リピーター率 【68.0%】												3.86										4.38	4.48
					3.99	4.30	4.36	0.06	0.31	108%	リピーター率は、新規の観光客の割合が多く、目標の達成に至らなかったが、おもてなしの充実と併せてリピーターの更なる確保に向けた取組が必要である。	C													
					65.4	65.4	50.1	▲15.3	▲17.9	74%															
(5)外国人観光客の誘致拡大	①外国人観光客の受入体制の充実	4	7	17	25	19	15	▲4	▲14	52%	韓国からの観光客が5,400人も減少したことが最大の要因だが、現地旅行博に出展、誘客に努めた台湾や、農家民泊の参加があったカナダは前年から大幅増加となり、全体の減少幅を抑えている。	C													
	②外国観光客船の誘致																								
	③海外向け情報発信の強化																								

政策の 基本目標	具体的な施策展開	目標(令和元年KPI) ※下線は上方修正	現状値 基準年(H26)	実績値					検証分析			達成度		
				H27	H28	H29	H30	R1	対前年 数値	数値分析			分析(要因等)	
										数値	割合			
2 地域資源を活かした「U」と「I」の創出	目標：若い世代の就業率の向上 20歳～34歳の就業率(男女) ※国勢調査データ	80.0%(R2)	78.2(H22)	—	—	—	—	79.9(H27)	—	▲0.1%	99%		B	
	(1)農業所得の向上による農村での定住社会の実現	①儲かる農業の再構築	酒造好適米作付面積J(年間) 20ha⇒【30ha】	7.0	22.7	27.1	24.3	62.5	72.7	10.2	42.7	242%	酒造好適米は、酒造会社の需要の高まりや酒米とう精工場の整備に伴う精米処理量の増加により作付面積を大幅に拡大した。	A
		②農業の担い手の育成・確保	飼料用米作付面積(年間) 79ha⇒【90ha】	35.0	70.3	97.6	94.9	91.0	92.2	1.2	2.2	102%	飼料米の作付は、作付面積を飼料用米から酒造好適米へシフトする等の調整を行ったため、H28をピークに減少しているが、R1は前年度より微増し目標を達成した。	A
		③強い集落営農づくりの推進	新規就農者数(累計) 62人⇒【72人】	47	54	59	63	70	76	6	4	106%	農業の大きな課題である後継者育成について、新規就農者数は着実に伸び、目標を達成した。	A
		④農山漁村ビジネスの振興と6次産業化・農商工連携の支援	飼養頭数20頭以上の繁殖農家の割合 10%⇒【15%】	8.6	9.7	14.2	14.5	17.5	18.3	0.8	3.3	122%	飼養繁殖農家の全体戸数は57戸から60戸へ、そのうち飼養頭数20頭以上の繁殖農家の割合規模農家数が10戸から11戸へ増加しており、畜産業の安定した経営につながった。	A
		⑤萩産和牛の生産拡大と循環型農業の促進	鳥獣侵入防止柵延長(累計) 260km⇒【350km】	183	218	262	294	343	387	44	37	111%	安心して営農できる環境づくりの取組の一つである有害鳥獣侵入防止柵については、計画的に延長が図られ、農作物の被害額軽減につながった。	A
		⑥萩産農産物の付加価値を高めブランド化を図る新たな取組	地域団体商標の登録数(累計) 4件⇒【8件】	1	1	7	7	8	8	—	—	100%	高品質で消費者に信頼される「やまぐちブランド」への登録により、萩市が誇る農産物の情報発信やPRの促進が図られた。	A
		⑦持続可能な農業生産活動の推進												
(2)萩市最大の財産を活用した林業再生	①木材を供給(素材生産)するための取組	公共事業等における県産木材使用量(累計) 1,871m ³ ⇒【2,000m ³ 】	871	1,248	1,727	1,849	1,949	1,954	5	▲46	98%	史跡伊藤博文旧宅や史跡萩城跡外堀土塁の改修に県産木材を活用し、地元産木材の流通促進を図ったが、目標の使用量までには至らなかった。	B	
	②木材流通システムの構築													
	③地元産木材の利用促進													
	④林業を支える担い手の確保・育成													

政策の基本目標	具体的な施策展開	目標(令和元年KPI) ※下線は上方修正	現状値 基準年(H26)	実績値					検証分析			達成度			
				H27	H28	H29	H30	R1	数値分析		分析(要因等)				
									対前年 数値	対目標値 数値 割合					
2 地域資源を活かした「じ」と「の」の創出	(3)地域の柱となる水産業の振興	①水産資源の管理・回復、漁場の保全	水産物の生産地市場平均魚価【630円/kg】	600	624	547	575	529	584	55	▲46	93%	魚価は、水揚量の多い「あじ類」の単価が前年より100円上がったことにより増加となった。総水揚量・総水揚高は、ともに昨年より減少し、「あじ類」、「さば類」、「けんさきいか」などは特に減少した。	B	
		②萩の魚の価値向上、販路の拡大	新規漁業就業者数(年間)【10人】	6	—	13	16	7	14	7	7	4	140%	新規就業者は、前年に比べ雇成型漁業者の就業が多かった。個別事情にもよるため、年度によるばらつきが生じている。	A
		③水産業の担い手確保・育成	旬の地魚提供店(累計)【48店】	43	43	44	46	46	46	—	—	▲2	96%	旬の地魚提供店は、萩の魚ブランド化推進協議会等により、店舗数の拡大に向けて取り組んでいるが年度内の新規提供店の増加には至らなかった。	B
		④収益力の高い経営体の育成	定置網漁業数(累計)【7ヶ統】	5	5	6	6	6	6	—	—	▲1	86%	定置網漁業数は、見島での操業を計画していたが、冬季の輸送手段・人員確保等の諸課題が解決できていない。	B
		⑤漁村の活性化と漁業の基盤整備	道の駅鮮魚販売額(萩、田万川)(年間)【370百万円】	317	293	256	248	243	251	—	8	▲119	68%	目標達成に至らなかったが、商品力強化、鮮度管理を徹底し、地域住民の毎日の買い物の場として利用され、前年度に比べ、道の駅の鮮魚販売額の増加につながった。	C
		⑥水産業と観光業の連携及び6次産業化の推進													
	(4)安定した雇用の創出	①地域の雇用を支える地域産業の振興と創業支援	創業支援件数(年間)【45件】	30	16	11	23	166	116	▲50	71	258%	創業支援件数は、新型コロナウイルス等の影響により年度後半の相談件数が減少した。しかし、平成30年度から起業化支援融資の条件(融資額、期間、貸付利率)を緩和したことにより、金融機関等への相談件数が急増し、目標を大幅に上回っている。	A	
		②萩産品のブランド化及び販路の拡大	創業件数(年間)【16件】	5	6	6	13	6	13	7	▲3	81%	創業件数は、比較的起業しやすい小規模の事業者による創業件数が多くなっている。今後は、令和2年2月に開設した萩市ビジネスチャレンジサポートセンターHagi-Bizによる起業・創業希望者への伴走型支援が展開されることで、更なる起業・創業につながることを期待される。	B	
		③萩ブランドを代表する萩焼の魅力発信、販路拡大の支援	就職者数(年間)【1,273人】	1,158	1,277	1,031	935	883	868	▲15	▲405	68%	就職者数は減少傾向にあるが、一方で、求職者数は増加しているため、求職者における就職率は、減少している。求人と求職者のミスマッチの解消や新型コロナウイルスの影響による事業者への雇用促進に向けた支援が必要である。	C	
		④「道の駅」を拠点とした地域産業の振興	やまぐち障がい者雇用推進企業(累計)【14社】	8	8	8	8	8	8	—	—	▲6	57%		C
		⑤企業誘致の推進	市内高校生市内就職者数(年間)【60人】				53	38	38	—	—	▲22	63%	市内高校生の市内就職者数は、前年度と比べて横ばいとなっている。卒業予定者数は前年度と比べ増加しているものの、市外県外からの求人が積極的に行われたことが、目標達成に至らなかった要因として分析される。	C
		⑥高齢者や障がい者の就業の促進													

政策の基本目標	具体的な施策展開	目標(令和元年KPI) ※下線は上方修正	現状値 基準年(H26)	実績値					検証分析				達成度	
				H27	H28	H29	H30	R1	対前年 数値	対目標値		分析(要因等)		
										数値	割合			
3 萩の魅力を活かした移住・定着の促進	目標：転出超過(社会減)の抑制)	▲107人	▲214	—	—	—	—	▲402	—	▲295	▲375%		C	
	(1)移住促進に向けた萩の魅力の発信	①「萩暮らし」情報の発信の強化	移住相談件数(年間) 【400件(H27～H26平均)】	353 (H22～H26平均)	419	409	512	726	716	▲10	316	179%	各年の相談件数において400件を上回っており、5年間の平均値では目標値を大きく上回った。これは、全国版空き家・空き地バンクへの情報掲載、萩暮らし応援センターFacebook等、様々なWeb上の媒体を活用した情報の発信に努めたことによるものと分析される。	A
		②ふるさと回帰に向けた取組の推進			—	—	—	—	—	—	156.4	139.1%		
	(2)円滑な移住と定着を支援する受入体制の充実	①移住のための支援体制の充実	定住総合相談窓口を通じた移住世帯数(累計) 200世帯⇒ 【280世帯】	117	146	177	206	251	290	39	10	104%	萩暮らし応援センターへの移住支援員の配置、各地域への地域移住サポーターの配置による、きめ細かな移住相談体制により目標値を達成したと分析される。	A
		②移住後の支援体制の充実												
(3)既存ストックの有効活用による定住支援	①空き家情報バンク制度の充実	空き家情報バンク登録物件数(累計) 400件⇒ 【500件】	235	288	341	401	468	516	48	16	103%	地域移住サポーターによる活用可能な空き家の掘り起こし、パンフレットやチラシの配布等による登録の呼びかけのほか、各種支援制度の活用により、目標を達成した。	A	
	②定住・定着に向けた環境整備													
(4)交流を通じた移住・定着の促進	①交流・体験による魅力のPR	民泊体験・萩暮らし体験ツアー参加者数(年間) 【900人】	780	808	896	842	906	1,079	173	179	120%	民泊体験では、教育旅行に加えインバウンドの受入が大幅に増加したことから、参加者数が増加し目標値に達した。	A	
	②外部人材の活用と定着の促進	地域おこし協力隊員の委嘱数(累計) 16人⇒ 【28人】	新規の取組	8	16	18	26	31	5	3	111%	目的が明確化している活動内容(ミッション型)を提示するなど、積極的な情報発信や効果的な募集により、目標を上回る隊員数の確保につながった。令和元年度末時点において、退任者17人中12人(70%)が萩市に定着しているところである。	A	

政策の基本目標	具体的な施策展開	目標(令和元年KPI) ※下線は上方修正	現状値 基準年(H26)	実績値					検証分析				達成度	
				H27	H28	H29	H30	R1	対前年 数値	数値分析		分析(要因等)		
										数値	割合			
4 希望をかなえる結婚・出産・子育て環境の充実	目標：合計特殊出生率の向上 ※3年間の平均で算出	1.65	1.49	—	—	—	—	1.32 (見込み)	—	▲0.33	80%		B	
	(1) 出会い・結婚の 機会の充実	①結婚サポート体制の充 実 結婚支援制度を 活用した成婚件 数(累計) 【60件】 ②事業所連携等による出 会いの場づくり	30	37	38	42	46	46	—	▲14	77%	結婚相談所の登録者の平均年齢が上昇している ことに加え、新規登録者が減少していることから、成 婚に至る件数が伸び悩んでいる状況である。	C	
	(2) 出産・ 子育て環境 の充実	①妊娠から子育て期ま での包括支援	蕨萩市子育て世 代包括支援セン ターHAGU利用 件数(年間) 【600件】	—	—	—	229	567	885	318	285	148%	昨年7月に、設置場所を総合福祉センターに移転し たことにより、利用件数が伸びている。サロンの利 用も増加しており、子育て世代の親の不安やストレ スの軽減につながっていると推察される。	A
		②産後の育児初期にある 親子の支援強化	乳児のいる家庭 の訪問割合 【100%】	92.8	92.6	94.2	91.0	92.5	91.5	▲1.0	▲8.5	92%	生後4か月未満の乳児がいる全ての家庭に訪問を 実施しているが、市外への里帰りの長期化や訪問を 拒否する家庭があることなどから訪問割合が減少し ている。	B
		③子どもの健やかな成長を 促す地域づくり	児童館の利用者 数(年間) 【550百人】	534	520	511	531	509	478	▲31	▲72	87%	児童館の利用者数は、新型コロナウイルス拡大防 止のため、3月に休館したことにより減少した。	B
		④子育て世帯等の経済的 支援と負担軽減	育児に必要な備 品購入等支援数 (累計) 50件⇒【1,000 件】	新規の取組	—	166	543	880	1,200	320	200	120%	前年に引き続き単年度で300件を超える利用があ る。子育て世代から好評であり、子育て世代に需要 の高い制度であるといえる。	A
		⑤仕事と子育ての両立支 援												
⑥子どもを守る取組の推 進														

政策の基本目標	具体的な施策展開	目標(令和元年KPI) ※下線は上方修正	現状値 基準年(H26)	実績値					検証分析				達成度		
				H27	H28	H29	H30	R1	対前年 数値	数値分析		分析(要因等)			
										対目標値 数値	割合				
	目標：高校新卒就職者の市内就業率の向上	28.0%	26.0	—	—	—	—	21.0	—	▲5.0	75%		C		
5 誇りと志を抱き未来を拓くひとづくり	(1)ふるさとを誇りとし、志を抱き生きる力をもった子どもの育成	①ふるさとへの誇りと志を育む教育	将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合【向上させる】	小学校 89.6%	88.4	90.6	86.4	87.1	88.0	0.9	減少	—	小学校、中学校ともに高い水準を維持しており、特に中学校においては、各学校のキャリア教育の充実が結果につながっていると分析している。	B	
			中学校 72.8%	79.6	80.0	77.7	84.3	78.5	▲ 5.8	向上	—	A			
		②学力向上に向けた取組	いじめ・不登校の減少【減少させる】	いじめ:小 1.28%	2.18	1.74	1.65	2.59	4.03	1.44	増加	—	いじめの増加は、各学校において、いわゆる「いじり」や「からかい」などいじめとして幅広く捉え、早期発見・早期対応に努めた結果であり、適切に判断されたものと肯定的に捉えている。	C	
				いじめ:中 4.23%	4.86	4.31	4.9	4.22	8.88	4.66	増加	—		C	
				不登校:小 0.19%	0.05	0.05	0.31	0.48	0.49	0.01	増加	—		C	
	③豊かな心と健やかな体の育成	不登校:中 2.12%	2.25	1.38	1.15	2.51	3.55	1.04	増加	—	不登校(年間30日以上欠席)は、小学校、中学校ともここ数年増加傾向にある。不登校の理由は個別の事案ごとに様々である。	C			
	④地域の核となる学校づくりと地域の特色を活かした教育の充実	コミュニティ・スクール設置率【100%】	58	89	100	100	100	100	—	—	100%	市内の全ての学校においてコミュニティスクールを設置し、目標で掲げた設置率100%を達成している。	A		
	(2)次世代を担う心豊かなひとづくり	⑤教育環境の整備と就学支援の充実	学校施設の耐震化率【100%】	80	100	100	100	100	100	—	—	100%	市内全ての学校の耐震化整備を行い、耐震化率100%の目標を達成している。	A	
			⑤教育環境の整備と就学支援の充実	⑤学校トイレの洋式化 全ての学校【3校】(累計)				1	1	—	▲ 2	33%	当初、学校トイレの洋式化を予定していたが、文部科学省の方針により、全普通教室等にエアコンの設置及びGIGAスクール構想の実施を優先的に取り組んだことにより、目標達成に至らなかった。	C	
			①教育機関との連携・協働による若者の定着促進	学生のインターンシップ参加者数(年間) 160人⇒【240人】	144	—	174	216	168	159	▲ 9	▲ 81	66%	学生のインターンシップ参加者数は、市内高等学校のカリキュラムによる変動があるほか、職種によっては実施のタイミングや調整が難しく、生徒の希望に添えない場合があることから、目標達成に至らなかった。	C
②生涯学習機会の充実				公民館等が実施する学級・講座等の開設・開催数(年間) 【200件】	175	185	188	229	220	232	12	32	116%	生涯学習環境の充実については、各種取組が効果を上げており、目標を達成している。	A
③生涯学習を支えるひとづくりの推進				市民の講師・指導者の登録数(累計) 【100人】	新規の取組	70	73	78	100	102	2	2	102%		A
⑤スポーツの振興を通じた人材の育成とスポーツ環境の充実	全国大会出場団体(者)数(年間) 【85団体・個人】	74	67	60	77	85	58	▲ 27	▲ 27	68%	新型コロナウイルスの影響で中止となる大会があったことなどから、全国大会出場団体(者)数は減少し、目標達成に至らなかった。	C			

政策の基本目標	具体的な施策展開	目標(令和元年KPI) ※下線は上方修正	現状値 基準年(H26)	実績値					検証分析			達成度	
				H27	H28	H29	H30	R1	対前年 数値	数値分析			分析(要因等)
										数値	割合		
6 生きがいをもち 健康で自立した暮らしの実現	目標：健康寿命の延伸	男性77.99歳 女性83.25歳	男性76.72 (H24) 女性82.08 (H24)	-	-	-	-	男性77.77 女性83.94	-	男性▲0.22 女性 0.69	99% 101%	B	
	(1)若い頃から高齢期にいたるまでの健康の維持増進	①生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、こころの健康づくり	糖尿病患者の割合(50歳代) 20%以下⇒ 【7.5%以下】	8.86(H25)	7.46	7.95	7.95	8.03	8.5	0.47	▲1.00%	88.2%	B
		②生きがいのもてる活動の促進	こころの健康づくり見守り隊員数 1,500人⇒ 【2,000人】	1,138	1,188	1,443	1,741	2,599	3,249	650	1,249	162%	A
	(2)地域包括ケアシステムの構築	①地域包括支援センターの機能強化	認知症サポーター養成数(累計) 7,000人⇒ 【8,000人】	6,031	6,530	7,252	7,523	8,311	8,715	404	715	109%	A
		②在宅医療・介護連携の推進	地域ささえあい協議体設置数(累計) 【16地区】	新規の取組	6	15	16	16	18	2	2	113%	A
		③認知症施策の推進	地域住民主体のサービス提供団体の創出(累計) 10団体⇒ 【16団体】	1	5	5	13	22	22	-	6	138%	A
		④生活支援サービスの体制整備	75歳以上介護保険被保険者に占める要介護認定者の割合 【25.0%以下】	25.30	25.10	25.30	25.01	23.93	23.03	▲ 0.90	▲ 1.97	109%	A
		⑤介護予防の推進	認知症サポーターについては、若い世代への普及啓発にも力を入れており、小学生や中学生を含め、受講者数が増加している。										

政策の基本目標	具体的な施策展開	目標(令和元年KPI) ※下線は上方修正	現状値 基準年(H26)	実績値					検証分析			達成度		
				H27	H28	H29	H30	R1	数値分析		分析(要因等)			
									対前年 数値	対目標値 数値			割合	
7 地域特性を活かした安全で快適なまちづくり	目標：交通事故、火災、犯罪の抑制	抑制	交通事故：91件 火災：24件 犯罪：287件	—	—	—	—	交通事故：58件 火災：30件 犯罪：133件	—	—	—	B		
	(1)地域特性を活かした 安全で快適なまちづくり	①賑わいのある中心拠点の整備	地域の夢プラン 作成数(累計) 8件	やまぐち元 気生活圏 「夢プラン」 5	5	6	6	地域振興 計画 「夢プラン」 5	11	6	3	138%	地域の夢プランについて、平成29年度までは、山口県が進める「やまぐち元気生活圏」づくりの一環として、中山間地域で生活する住民自身による地域の将来計画を想定していたが、萩市基本ビジョンにおいて、地域振興計画となる「夢プラン」による地域づくりに取り組むこととした。 「夢プラン」の策定にあたっては、平成30年度に4地域1地区を策定。令和元年度はむつみ、福栄、三見、大井、見島、相島の2地域4地区を策定し、合計11の地域・地区で「夢プラン」を策定した。	A
		②地域特性を活かした中山間地域づくりの推進												
		③魅力ある島づくりの推進												
		④保健・医療・福祉ネットワークの構築												
		⑤道路交通・公共交通ネットワークの充実												
		⑥ライフラインの確保												
		⑦市民に優しい環境づくりの推進												
⑧民間活力を活用した新たな行政サービスの展開	新たな行政サービスの実施地域の数(累計) 【6地域】	新規の取組	4	5	6	6	6	—	—	100%	新たな行政サービスの実施地域数については、平成29年度から全ての総合事務所で実施している。	A		

政策の基本目標	具体的な施策展開	目標(令和元年KPI) ※下線は上方修正	現状値 基準年(H26)	実績値					検証分析			達成度	
				H27	H28	H29	H30	R1	対前年 数値	数値分析			分析(要因等)
										対目標値 数値	割合		
7 地域特性を活かした安全で快適なまちづくり (2)市民の生命や財産を守るための体制の構築	①災害時に命を守る消防・防災対策の推進	住民への防災研修・訓練の実施件数(年間) 【60回】	49	51	44	34	31	70	39	10	117%	自治会長等を対象とした防災講座を積極的に開催したため、また、新たに地域防災リーダー研修会を開催したため、大幅に増加した。	A
	②医療従事者の確保及び医療環境の充実												
	③救急体制の充実・強化	消防団員の教育・訓練の実施件数(年間) 【101回】	92	93	81	155	113	124	11	23	123%	主に消防操法訓練を実施しており目標値を上回る件数となった。	A
	④不安を解消するための相談体制の充実	救急救命講習の実施件数(年間) 【95回】	79	89	82	79	88	91	3	▲4	96%	救急救命講習は、消防職員による出前講座の形式で実施しているが、これまで出前講座を受講していた学校、福祉施設等が応急手当の必要性から訓練用資器材を消防から借用(前年より9件増加)し自ら訓練をするようになった。目標件数には達しなかったが、救急救命意識が着実に醸成されている。	B
	⑤防犯の推進と交通安全の確保												
	⑥老朽危険空家対策	市内の老朽危険空家解消件数(累計) 60件⇒【150件】	39	53	76	94	128	158	30	8	105%	老朽危険空家所有者に対する適正管理についての助言等を行うとともに、老朽危険空家に対する除却費用の補助制度を平成30年度から開始したことが、解消件数の増加の要因と分析される。	A

	KPI設定項目	64件
A	目標を達成(100%以上)	34件(53%)
B	目標を概ね達成(80%~100%未満)	13件(20%)
C	目標を未達成(80%未満)	17件(27%)

地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金 効果検証シート

No.	交付金事業の名称	事業費(千円)	交付金額(千円)	萩市の事業名	事業内容	重要業績評価指標(KPI)	目標年月	目標値	実績値	所管名		
1	【地方創生推進交付金】 「大人の社会塾」を中心とした人材育成による地域活性化事業 【事業開始: R1】	2,070	984	「大人の社会塾」熱中小学校運営事業	地域や産業に貢献する人材力を強化する観点から市内外の学生や社会人を対象とした社会・産業人材育成塾を開校し、市民を中心に継続的な学びの機会を提供すると同時に外部人材との交流を進め、チャレンジマインドの醸成を図った。	参加者数(受講者、講師等)【年間】	R3.3	760人	400人	産業戦略室		
2	【地方創生推進交付金】 萩ジオパーク構想による「萩らしさ」が“見える”・“伝わる”まちづくり事業～ふるさと萩が萩らしくあり続けるために～ 【事業開始: H29】	17,268	6,379	ジオパーク推進事業	<p>【ジオガイド・案内人養成事業】 ジオガイド及びジオツアーを組み立てジオツーリズムを総合的にコーディネートする「案内人」を養成するため、養成講座全5回を開催した。</p> <p>【サテライト・拠点施設機能強化事業】 ジオサイト最寄りのサテライト・拠点施設6箇所にジオサイト及びジオストーリーに係る詳細情報を提供する床地図を作成し、設置した。 ジオツーリズムの看板整備のため、ツアーコース上にある各ジオサイト等の現地9箇所に解説板を設置した。</p> <p>【イベント開催事業】 萩ジオパークの一層の周知を図り、機運を醸成するため、「萩ジオパークフォトコンテスト2019」を開催した。また、「萩ジオパークフェア2020」を3月8日(日)に開催する計画で準備を進めたところであったが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、開催を中止することとした。</p> <p>【普及啓発事業】 「萩ジオパーク」の一層の周知を図り、機運を醸成するため、萩ジオパークのマップやガイドブック、啓発グッズ等を作成するとともに、市民に萩ジオパーク内のジオサイトが持つ地形・地質的特徴や生態系、人の暮らしにつながるサイト等を学ぶ体験プログラム「萩ジオユニバーズ」を全10回開催した。また、夏期にファミリー向けのジオツアーを造成し全10回実施した。</p> <p>【モニタリング事業】 ジオパーク推進事業の効果検証のため、萩の主要ジオサイト等の2か所で、ジオツーリズムに関する観光動態調査を実施した。</p>	<p>ジオパークビジターセンターの入館者数【年間】</p> <p>ジオツアーを組み立てジオツーリズムを総合的にコーディネートする「案内人」の人数【累計】</p> <p>新たに事業化した「ジオツアー」の実施回数【累計】</p>	R2.3	200,000人	15人	26人	22回	ジオパーク推進課

No.	交付金事業の名称	事業費(千円)	交付金額(千円)	萩市の事業名	事業内容	重要業績評価指標(KPI)	目標年月	目標値	実績値	所管名
3	【地方創生推進交付金】 ～維新の風を再び！！～萩市雇用・就業環境改革総合強化事業 【事業開始：H30】	13,392	5,544	勤労者等支援事業 就業促進支援事業 起業化支援事業 中心商店街賑い創出店舗活用事業 萩市産品開発販路拡大事業	【人材育成研修事業】 新規採用者を対象とした研修を実施。(新型コロナウイルス感染症予防のため未実施) 【就業促進事業】 ・萩・維新ふるさと企業説明会 企業説明会を実施し、高校卒業予定者と市内企業のマッチングの場を提供する。(新型コロナウイルス感染症予防のため未実施) ・萩市ものづくりイベント支援事業 萩市産業フェスタのものづくりブース出展を支援し、ものづくりの技能をアピールする。 【賑い創出店舗活用事業】 市内の空き店舗等を活用して出店する事業者に対し、店舗改装費及び開店広告費等、出展に要する経費の一部を補助。(補助対象要件の該当者なし) 【創業セミナー等支援事業】 創業者・予定者に対する相談、指導及びフォローアップを実施。 【起業化支援事業】 ・萩ビジネスプランコンテスト実施事業 独創性や地域貢献性の高い事業内容により起業する者や、他分野へ事業拡大を図る事業者を募集し、ビジネスプランコンテストを実施。 【萩市産品販路拡大事業】 ・萩ブランド再構築プロジェクト作成業務 萩市の地域資源を調査・選定し、萩ブランドを再構築。 ・中小企業等事業拡大(チャレンジ)補助金制度 事業拡大や販路拡大を行う事業者に対し、対象経費の1/2を補助。 ・萩・新お土産コンテスト実施事業 地域資源を活用したお土産づくりの促進のためのアイデアの募集を実施。	萩市企業の新規雇用者数【年間】	R3.3	927人	868人	商工振興課
					萩市での起業家数【年間】	11件		13件		
						新たに開発された地域ブランド数【年間】		6件	5件	
						萩市への観光客数【年間】		5,000,000人	4,506,575人	
				企業立地推進事業	【企業立地推進事業】 都市部でのIT展示会に出展しPR活動を実施。					企業誘致推進課
4	【地方創生推進交付金】 「萩・林業再生」林業6次産業化による循環型の地域づくり事業 【事業開始：H30】	19,963	9,981	林業6次産業化推進事業	【地域商社を通じた林業6次産業化による循環型の地域づくり事業】 地域商社設立に向けた、市内の第1次～第3次産業事業者の連携体制の構築、地域商社の事業仮説の構築。 【地域林業体験プログラム事業】 市内学校向けの林業体験プログラムの作成。 【地域森林資源の多様な利用促進事業】 地域の森林資源利用に関するイベントの実施。 【林業6次産業化検討委員会運営業務】 林業の6次産業化に向けた事業の進捗の把握及び方向性の検討を行う検討委員会を開催。	本事業に関連した林業産出額【年間】	R3.3	41,500千円	26,798千円	林政課
					新たな林業6次産業化事業体(地域商社)及びその準備組織における売上高【年間】	6,500千円		0千円		
					本事業に関連した新規就業者数【年間】	8人		2人		
					地域の森林資源を利用した体験・交流プログラムへの参加人数【年間】	60人		29人		

No.	交付金事業の名称	事業費(千円)	交付金額(千円)	萩市の事業名	事業内容	重要業績評価指標(KPI)	目標年月	目標値	実績値	所管名
5	【地方創生推進交付金】 山口県連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくり 【事業開始:R1】	8,832	3,629	7市町の個性をつなげる一体的な取組体制構築事業 インバウンド誘客事業 周遊促進及び滞在消費型喚起事業	<p>【7市町の個性をつなげる一体的な取組体制構築事業】 周遊型博覧会を通じた広域連携体制づくり事業</p> <p>【インバウンド誘客事業】 インバウンド誘客プロモーション 外国人誘客の拡大を図るため、地域DMOによるHPの多言語化(英語、中国語(繁体字)、韓国語)、及びパンフレットの作成(英語2,000部、中国語(繁体字)、韓国語各1,000部)を支援した</p> <p>【周遊促進及び滞在消費型喚起事業】 着地型観光による観光地域づくり事業</p> <p>○萩おもてなし推進協議会補助金 観光客の満足度向上による交流人口の増加を図るため、萩おもてなし推進協議会が実施する研修、HP作成などによるおもてなし向上の取組を支援した。</p> <p>○3市連携萩往還ガイド事業 広域連携ガイドの充実による観光客の満足度向上による交流人口の増加を図るため、萩往還観光誘致制度創設委員会が実施する山口市、防府市、萩市にまたがる萩往還の語り部による萩往還ガイドウォーク等の取組を支援した。</p> <p>○着物イヤー事業 国内外からの誘客拡大を図るため、地域DMOが実施する、年間を通じた着物での町歩きを推し進めるための周遊パスポート、ポスターの作成を支援した。</p>	観光客数【年間】	R4.3	5,000,000人	4,506,575人	観光課
						外国人観光客数【年間】		33,100人	14,600人	

■過去に実施した事業(KPIの検証)

1	【地方創生拠点整備交付金】 定置網復活！雇用の創出と地域の拠点づくりプロジェクト 【事業開始:H28】 ※H29年度事業終了	145,818	54,268	道の駅「ゆとりパークたまがわ」整備事業	<p>(改修工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置網鮮魚、地域の農林水産物や特産品等の販売のため、「物販ゾーン」の拡張及びレイアウト変更、機械設備や電気設備等の改修を実施、平成30年2月17日にリニューアルオープン(約364.04㎡)。 ・地魚をはじめとした地域の食材を活用したメニューを提供するため、レストランを改修(平成30年1月11日開業) ・周辺の観光地への誘導を促すための地域情報や道路情報等の充実のための改修とともに、来訪者が訪れやすいインフォメーション用のカウンターを設置。 ・世代間の交流を推進するため、サロン(休憩コーナー)や、母親や子どもたちが集うための授乳室やキッズコーナーを設置。 ・地域の伝統料理等を継承するための食材研究室の改修(約284.74㎡) <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元婦人と地域おこし協力隊が協働して試作していた、柑橘等のジャム開発のテスト販売を実施 ・まず顧客満足度レベルアップ及び視覚的に伝えることができる店舗構成の研修を実施。 ・施設のリニューアルオープンや先行オープンのイベントへの補助や業務委託により、地域の道の駅としての賑わいを生み出すとともに、情報発信のため、道の駅のリーフレット(4,000部)を作成。 	道の駅の販売額【年間】	R3.3	538,000千円	242,319千円	商工振興課
						道の駅で働く従業員数【年間】		26人	18人	
						道の駅の来館者数【年間】		30万人	20.6万人	